

平成 2 7 年度第 5 回豊川市社会教育審議会
会議録

平成 2 8 年 3 月 1 1 日開催

豊川市教育委員会生涯学習課

平成28年3月11日（金） 午後2時 開議

出席委員

会 長	山 城 康 司
委 員	伊 奈 克 美
委 員	藤 井 孝 男
委 員	穴 吹 富 貴 子
委 員	宇 佐 美 佳 三
委 員	柴 田 功 己
委 員	細 野 文 治
委 員	柴 田 斉 子
委 員	権 田 静 司
委 員	片 桐 早 奈 美
委 員	伊 藤 暢 子
委 員	宇 井 宏 次
委 員	山 川 和 明
委 員	塚 越 京 子

事 務 局

教育長	高 本 訓 久
教育部長	柴 谷 好 輝
教育委員会次長	赤 谷 雄 助
中央図書館館長	中 森 利 仁
〃 主幹	尾 崎 浩 司
スポーツ課課長	中 村 幸 夫
生涯学習課課長	前 田 清 彦
〃 課長補佐	尾 藤 哲 也
〃 生涯学習係長	中 村 和 宣

議事日程

- 1 平成28年度教育委員会（社会教育）の予算概要（社会教育団体補助事業）及び主要施策について
- 2 第3次豊川市生涯学習推進計画の策定について
- 3 豊川市子ども読書活動推進計画（子ども読書活動推進大綱・実施計画）の策定について

「事務局」 皆様、大変お忙しい中ご参集いただきましてありがとうございます。定刻になりましたので、ただ今より、平成27年度第5回目の社会教育審議会をはじめさせていただきます。それでは、はじめに山城会長よりご挨拶をお願いします。

「会長」 東日本大震災発生から5年がたちました。テレビや新聞などの報道、また多くの方からお話を伺い感慨深いものがあります。今日は、本年度最後の審議会になりますので多くの発言をしていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

「事務局」 続きまして、高本教育長よりご挨拶を申し上げます。

「教育長」 第3次生涯学習推進計画もいよいよ完成が近づきまして、今日は最終的なご意見を伺うことになりました。また、子ども読書活動推進計画についてもご報告をさせていただきます。今年度最後の審議会となりましたが、委員の皆様には1年間ご苦勞をいただきありがとうございます。心からお礼を申し上げます。

「事務局」 本日は、委員1名が都合により欠席されていますが、会議開催の定足数であります2分の1以上の委員の出席を満たしていますことをご報告申し上げます。

なお、本日は、東日本大震災の発生からちょうど5年になります。地震発生の時刻、午後2時46分になりましたら、1分間の黙禱を捧げ、犠牲となられた方々に哀悼の意を表したいと思っております。会議の途中になるかと思っておりますが、館内放送が入りますのでよろしくお願い申し上げます。

それでは、これからの議事進行につきましては、豊川市社会教育審議会規則第4条に基づき、会長のもとで進めていただきたいと思います。よろしくお願いたします。

「会長」 それでは、次第に従いまして議事に入らせていただきます。本日の議題は、2月に教育委員会から諮問のありました、「平成28年度教育委員会（社会教育）の予算概要（社会教育関係団体補助事業）及び主要施策について」と、「第3次豊川市生涯学習推進計画の策定について」及び、「豊川市子ども読書活動推進計画（子ども読書活動推進大綱・実施計画）の策定について」の3件でございます。よろしくお願いたします。

それでは、議題（1）平成28年度教育委員会（社会教育）の予算概要（社会教育関係団体補助事業）及び主要施策について事務局から説明をお願いします。

「事務局」 「予算概要（社会教育関係団体補助事業）について」資料に基づき説明。
（生涯学習課長説明）

「事務局」 「主要施策について」資料に基づき説明。
（生涯学習課長、中央図書館長、スポーツ課長説明）

「会長」 ただいまの説明についてご意見、ご質問がありましたらご発言ください。

「会長」 ご発言がなければ、原案どおりご了承いただいたものとします。議題（1）「平成28年度教育委員会（社会教育）の予算概要（社会教育関係団体補助事業）及び主要施策について」諮問どおり実施されますよう要望いたしまして、本日付けで答申することとします。

「会長」 それでは、続きまして議題（2）「第3次豊川市生涯学習推進計画の策定について」事務局から説明をお願いします。

「事務局」 「第3次豊川市生涯学習推進計画の策定について」資料に基づき説明。
（生涯学習課長説明）

「会長」 ただいまの説明についてご意見、ご質問がありましたらご発言ください。

「委員」 キャリア教育の用語説明で「学校教育と職業生活との円滑な接続を図るため、望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身につけさせるとともに、」という表現がありますが、「身につけさせる」という表現は、少しきつい表現で上から目線のような印象を受けるのでもう少しやわらかい表現にできませんか。

「事務局」 「させる」という言葉に代わる表現を事務局で検討させていただき、会長の了承を得て修正いたします。

「委員」 「学びを広げる市域生涯学習の推進」という表現がありますが、「市域生涯学習」というのは豊川市独自の表現ですか。

「事務局」 これまで生涯学習対象区域を地域、市域、広域という3つの区域の概念のもとに生涯学習を進めてきた経緯があります。公民館や生涯学習会館など中学校単位で行う講座等を地域生涯学習、オープンカレッジのようにプリオや勤労福祉会館など市民全体を対象とした講座等を市域生涯学習というような区別をし、取り組んできました。豊川市独自の表現だと思いますが、これまでの計画では図などでイメージを示しながら説明をしていますが、今度の計画では割愛しました。

「委員」 難しい用語については、最後にまとめて説明がありますがその用語がでてきたところでその用語に説明があるとわかるようにしていただけないですか。

「事務局」 難しい用語がでてきたところで、用語に印を表示し説明があるとわかるようにしたいと思います。

「会長」 ほかにご発言がなければ、議題（2）「第3次豊川市生涯学習推進計画」については原案どおりご了承いただいたものとしてよろしいでしょうか。

「会長」 拍手をいただきましたので、この生涯学習推進計画の基本理念であります、「学びが創る ひと・まち・未来」にふさわしい「豊川市」となりますよう、市では、この計画に沿って生涯学習のさまざまな事業にしっかりと取り組んでいただきたいと思います。また、委員の皆様におかれましても、計画策定にあたり、1年余りの間ご苦勞をいただき誠にありがとうございました。

「会長」 それでは、議題（3）「豊川市子ども読書活動推進計画（子ども読書活動推進大綱・実施計画）の策定について」事務局から説明をお願いします。

「事務局」 「豊川市子ども読書活動推進計画（子ども読書活動推進大綱・実施計画）の策定について」資料に基づき説明。

（中央図書館主幹説明）

「会長」 ただいまの説明についてご意見、ご質問がありましたらご発言ください。

「委員」 私は、学校図書館巡回司書をしてしていますが、すごくわかりやすいお話で、ぜひ他の方にも知って欲しいと思いました。この資料はインターネットで公表されるそうですが、インターネットでは資料が多すぎて見づらと思います。どれくらいの人に紙媒体で配布されますか。また、アンケートを読んで耳が痛くなるような意見がありました。ページが抜けているから本を読みたくないとか、アンケートの時期も影響したかもかもしれませんが、図書室に行かない理由として図書室の場所がわからないとか、他人が触った本は読みたくないなどの意見がありました。本を清掃して、子どもたちに読んでもらえるようにボランティアさんと頑張りたいと思います。本の借り方を忘れてしまう子もいるし、中学生くらいになると本の好きな子と嫌いな子とはっきりと分かれてしまう気がします。

図書室に来る子は本が本当に好きな子が来ます。マイブックプロジェクトは自分で本が買えるので、汚いから本を読まないという子も減るし、本がクラスに集まってみんなで読むことにつながるから良いことだと思います。

「事務局」 子ども読書活動推進計画の冊子については図書館に設置をしますし、必要に応じて学校の先生などが自由に印刷できるようにし、多くの人に読んでもらいたいと思います。アンケートの時期は7月頃だったと思いますので生徒への学校図書館の利用案内説明会の時期より後になります。説明を受けてもすべての生徒が正しく理解できていないケースもあるのではないかと思います。アンケートの意見については、極力原文のままとし、生の声を載せていますので参考にさせていただきたいと思います。せっかく実施したアンケートですので子どもたちの意見はなるべく生かせるようにしていきたいと思います。マイブックプロジェクトについては、教育委員や点検評価委員からも高い評価を得ていますので、今後も継続していきたいと考えています。

「委員」 スマートフォン利用の低年齢化や若い親御さんもスマートフォンで情報を得ることができるので図書館に行かない方が増えていると思いますが、スマートフォンで図書館に行きたくなるような情報発信は何かされていますか。

「事務局」 スマートフォンが有害という意見もありますが、時代も変化しており価値観が少しずつ変わってきました。先日、電子書籍の事前受付をしましたが、高齢の男性の方や小さなお子さんを連れのお母さんにも来ていただきました。来られた方に意見を聴いて感じたことですが、電子図書館は子育てでなかなか図書館にこられない方や、ゆっくり家で本を読めない方にも楽しんで利用していただけるものと思います。それも踏まえて、ホームページ上でのPR方法を工夫し、スマートフォンを利用されている方々への情報発信も、少しずつですが始めたところです。今後も、継続して色々な工夫をしてみたいと考えます。

「会長」 ほかに、ご発言もないようですので、子ども読書活動推進計画について計画に沿って進めていただきたいと思います。

「会長」 それでは、以上をもちまして、本日の社会教育審議会を終了させていただきます。皆様ご協力ありがとうございました。

午後3時27分閉会